

社会福祉法人 福田会 週次報告書

2023年11月28日 / Vol. 058



ご支援総額

2023年11月22日までの寄付総額

128,723,010 円

寄付金使用総額

3469229.48 zł (約1億408万円)

11/13(月)～11/26(日)の期間中の寄附金使用額

24064.39 zł (約72万2千円)

11月13日(月)～11月26日(日)の支援活動

食材支援 (毎週金曜日) ※祝日等で変動あり

一人あたり50złの予算を設け、1週間分の昼食用食材の購入を支援。

11月16日(木) 20家族が参加 合計 2657.18 zł (約11万円)

11月24日(金) 23家族が参加 合計 2933.63 zł (約10万2千円)



シェルターへ支援物資の寄付

先日空調設備を寄付したDuchackaシェルターを訪問し、段ボール6箱分の食料を寄付。

同シェルターには現在約40名が滞在しており、その半数が小さな子どものため、赤ちゃん用フード・子ども用飲料などを寄付した。

施設を運営する団体によると、食料は常に不足しており、福田会ポーランド支部スタッフが同施設を訪問した際も、ゴミ袋に詰められたパンが置いてあり、人々はそこからパンを取り出して食べているような状況であった。



現地の動向

ポーランドのドライバーの道路封鎖により、3000台の車両が国境に立往生

ウクライナ当局によると、11月19日、ポーランドのトラック運転手による10日以上
の道路封鎖により、燃料や人道支援物資を積んだトラックを含む約3000台のウ
クライナ製トラックがポーランド側の国境で立往生した。

ポーランドのトラック運転手たちは、11月初め、2022年2月のロシアによるウクラ
イナ侵攻以来、外国の競合他社に仕事を奪われていることに対する政府の無為無
策*¹に抗議するため、ウクライナとの3つの国境交差点への道路を封鎖した。

当局によれば、キエフとワルシャワは抗議行動を止めるための合意に至らず、国
境の閉鎖は現時点でも改善されていない。(11月23日時点)

ウクライナのオレクサンドル・クブラコフ副首相は、「10日以上にわたって、ウ
クライナのドライバーはポーランド国境を封鎖されている。何千人もの人々が、
限られた食料、水、燃料しかない困難な状況での生活を強いられている。」と述
べた。

輸出統計を定期的に調査しているスパイク・ブローカー社（ウクライナのブロー
カー）によると、ポーランドとの国境にある税関検問所を通過する車両の貨物量
は、1ヶ月前のピーク時の1日あたり7,500トンに比べ、4,000トンに減少したとい
う。

ポーランドは11月に入り都市部で積雪を観測するなど、本格的な冬に突入した。
越冬のため、ウクライナからポーランドに避難して来るウクライナ避難民の数も
増える事が予想される。
ポーランド国内の各支援所・支援活動においても、国境閉鎖による物流停滞の影
響が無いとは言い切れない。

*¹ これまでウクライナのトラックは特別許可がなければポーランドに入国できなかったが、
2022年2月24日以降、この条件は廃止された。



(Photo by Yan Dobronosov/Global Images Ukraine via Getty Images) (GETTY, Global Images Ukraine)